

# 令和5年度第1回水戸市立博物館協議会

日時 令和5年7月21日（金）

午前10時から

場所 水戸市立中央図書館

3階視聴覚室

## 議 題

### 1 報告事項

- (1) 特別展「那珂川ヒストリー ー水と共に生きた人々ー」の結果について
- (2) 令和4年度博物館事業の実施結果について

### 2 協議事項

- (1) 企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」の開催について
- (2) 水戸市民会館オープン記念特別展示「市立博物館コレクション展」について
- (3) 特別展「ろうのしごと 中村光哉の染色」の開催について
- (4) 令和5年度博物館の主な事業について

### 3 その他

※ 閉会後に、展示会場をご案内します。

## 水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期：令和4年7月15日～令和6年7月14日)

氏名	役職等
桐原 幸一	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館特任研究員
川田 寛子	市学校長会代表・柳河小学校校長
河原 将子	市文化振興協議会副会長
中庭 忠	水戸商工会議所副会頭
村山 朝子	茨城大学教育学部教授
安嶋 隆	茨城生物の会副会長
小坪 のり子	県弘道館事務所主任研究員
添田 仁	茨城大学人文社会科学部教授
玉川 里子	学識経験者
塚原 正彦	牛久市議会議員・ みんなのミュージアムうしおくるプロデューサー
林 圭史	鹿島神宮文化研究所上席研究員
藤 和博	県立歴史館首席研究員
藤本 陽子	学識経験者
マーサー川又	市議会代表 (任期：令和5年6月30日～令和6年7月14日)

(順不同・敬称略)

### 事務局名簿

氏名	役職等
小川 邦明	水戸市教育委員会事務局 教育部 歴史文化財課長
鈴木 雅人	同課 水戸市立博物館長 (自然部門担当)
平澤 尚子	同課 水戸市立博物館 学芸係長
中村 有紀子	同課 水戸市立博物館 学芸員 (美術部門担当)
藤井 達也	同課 水戸市立博物館 学芸員 (歴史部門担当)
坂本 京子	同課 水戸市立博物館 学芸員 (民俗部門担当)
平井 佐知子	同課 水戸市立博物館 会計年度任用職員

## 報告事項(1)

### 特別展「那珂川ヒストリー ―水と共に生きた人々―」の結果について

#### 1 概要

那須岳に源流を発し、本流の長さ 150 kmにも及ぶ那珂川は、水戸市内を流れ、水戸市域とも関係の深い河川でした。流域に住む人々は、水産資源や水資源を確保する場、人や物を運ぶ流路として那珂川を生活に必要不可欠なものとして活用する一方、時折那珂川がもたらす水害にも備えながら、川との共生を続けてきました。本展覧会では、「生業」「流通」「災害」の3つの視点から、那珂川とその流域に住む人々の共生の歴史を紹介しました。



←会場入口付近



常陸名所図屏風→



← 3階展示室



4階展示室→

#### 2 会期

令和5年2月4日（土）～令和5年3月12日（日）（32日間）

#### 3 入場者数

2,297人

【内訳】	一般	1,548人	幼児	36人	小・中学生	210人
	高校生	10人	65歳以上	450人	障害者等	43人

#### 4 顧客満足度

約 90.2% (N=132) 満足 78, やや満足 41, 普通 10, やや不満 2, 不満 1

## 5 関連行事の結果

### (1) 特別講演会

#### 「下野から見た那珂川水運・内川廻し—江戸・太平洋への百姓のまなざし—」

期 日：令和5年2月25日（土）13時30分～15時00分  
 講 師：平野哲也（常磐大学人間科学部教授）  
 会 場：みと文化交流プラザ6F大会議室  
 参加者数：76名



### (2) オリジナル掛け軸を作ろう

期 日：令和5年3月4日（土）13時30分～15時30分  
 講 師：高村晴幸（水戸市立博物館ボランティア）  
 会 場：水戸市立中央図書館3階 視聴覚室  
 参加者数：15名



### (3) 講演会①「那珂川の鮭漁—竹留漁と留網漁を中心に—」

期 日：令和5年2月19日（日）13:30～15:00  
 講 師：鈴木祐志（水戸まちづくりの会副代表）  
 会 場：水戸市立中央図書館3階 視聴覚室  
 参加者数：29名



### (4) 講演会②「水戸城下の水害史—水害記録を読み解く—」

期 日：令和5年3月11日（土）13:30～15:00  
 講 師：藤井達也（水戸市立博物館学芸員）  
 会 場：水戸市立中央図書館3階 視聴覚室  
 参加者数：30名



### (5) ギャラリートーク

期 日：令和5年2月5日（日）、2月23日（木・祝）、3月12日（日）  
 各日とも 11:00～11:30、14:00～14:30

講 師：藤井達也（水戸市立博物館学芸員）  
 会 場：水戸市立博物館4階・3階展示室  
 参加者数：2月5日 11:00～ 24名 14:00～ 17名  
 2月23日 11:00～ 10名 14:00～ 15名  
 3月12日 11:00～ 25名 14:00～ 21名



## 6 特別展公式SNSの設置・活用

媒体	投稿数	リーチ数	エンゲージメント数	エンゲージメント率
Twitter	53件	14,032件	459件	3.3%

特別展をSNSで認知した人の割合 6.3%（アンケートより）

7 アンケート集計結果 (回答者数：158人)

(1) 展覧会の広報について

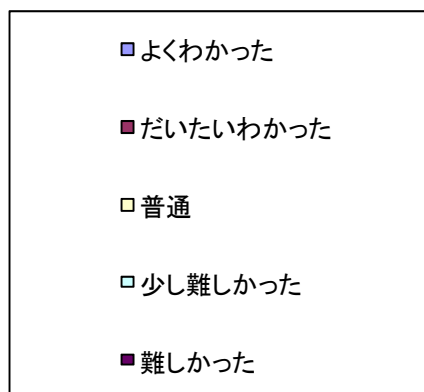
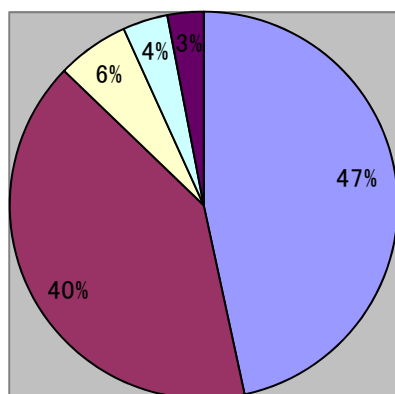
① この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	24	雑誌・タウン誌	3
チラシ	41	テレビ・ラジオ	0
広報みと	17	人から聞いて	18
インターネット	8	博物館・図書館に来てみて	18
SNS	10	その他	8
新聞	20		

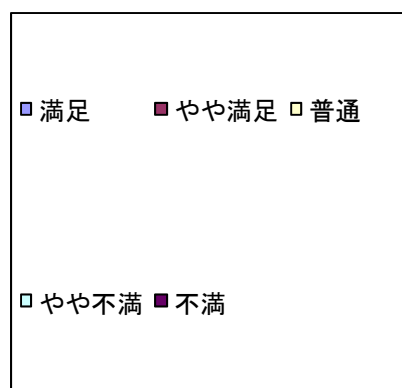
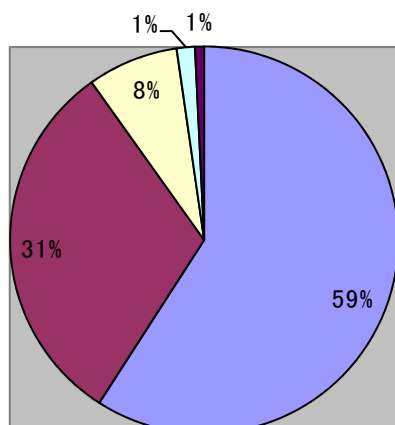
※その他 講演会後の見学3 / 招待券をもらった1 / 出品の依頼が来て1  
水戸駅のチラシ1 / 大学1 / 仕事1

(2) 今回の展覧会について

① 今回の展覧会の内容について、どう感じましたか？



② 今回の展覧会の満足度はどうでしたか？



③ この展覧会に対する御意見や御感想をお聞かせください。(一部抜粋)

ア. 全体に関わる感想

- ・まんべんなく人と那珂川との関係を扱っており、よい内容。(40代 男性 県内)
- ・那珂川だけのテーマでよくここまで調べ、まとめあげたものと感心。水運や川をめぐる風景は現代ほとんど失われてしまったため、貴重な成果になると思えました。(50代 県外 初訪問)
- ・那珂川の様々な側面がわかり、大変興味深い内容でした(20代 女性 県内 初訪問)
- ・歴史の中でもより市民に身近なテーマなので、とても面白かったです。(40代 女性 市内)
- ・今に残る地名とつなげることで、往時の隆盛ぶりや人々の暮らし、流域の県を越えたつながりがよくわかり、大変勉強になった。内容の濃い、テーマもよい企画展示でした。ありがとうございました。(60代 女性 市内)
- ・地域の過去、昔の様子がわかってとてもよかった。過去にどのような姿であったのかよく分かり、現在へのつながりが頭の中でついた。とても有意義な展示会でした。このような企画(身近な地域の様子)を今後も開いてほしいです。(70歳以上 男性 市内)
- ・水戸市の生まれで身近に感じられて大変よかった。今後も郷土に関する展覧会を期待しています。(70歳以上 男性・女性)
- ・県外から来た者です。水戸とよく聞くけれど、そういえばなぜ「水の戸」なのだろう…と来て思いました。様々な資料から「水の戸」のゆえんを垣間見れた気がします。ありがとうございました。(20代 女性 県外 初訪問)
- ・こうした地域にある川といった自然の歴史に焦点を当て、自然とは切り離すことのできない人々とのつながりを見ることができてよかった。私は大学生で満足することができたが、連れの祖父は、光が暗かったり、文字が小さくわからないなどの意見を言っていた。とにかくいい展示でした。茨城 good! ありがとう。(20代 男性 県内)
- ・那珂川の起点、川運送の仕方がわかりやすく説明されていてよかった。(70歳以上 男性 県内)
- ・説明がわかりやすく勉強になりました(40代 男性 県外)
- ・わかりやすく、興味深い資料展示です。これからもよろしくお願いします。(50代 男性 県外 初訪問)
- ・とても素敵な展示物がたくさんで、説明文も読みやすくよかったです。(10代 女性 市内)
- ・展示の工夫が見やすい!(50代 男性 県内 初訪問)
- ・絵図に現在地などが示されていてわかりやすかった(30代 男性 県外 初訪問)

- ・言い伝えで聞いたことが正しいと確認できました。古文書の大事さがわかりました。(70歳以上 男性 県内)
- ・茨城だけではなく、栃木まで視野に入れた貴重な展示。被災した史料からこんなに面白いことがわかるんだ！(男性 県内)
- ・ボランティアで収集に関わった史料が展示されていて、感動しました。那珂川について興味深いことが知れてよかったです。(20代 女性 県内 初訪問)
- ・歴史というテーマに限らず、最近の水害や生態にまで触れられているのが、とても興味深かったです。講演会ともリンクづけられていて、お互いの内容をより深めることができました。(20代 女性 市内 初訪問)
- ・那珂川に関する内容という展示はあまり見るのがなかったので、とても興味深い内容でした。海に焦点をあてた屏風展示がとてもおもしろかったです。(20代 女性 県内 初訪問)
- ・大洗磯前神社と酒列磯前神社に行く前に予習をしていて、那珂川を知りました。今回、会期と訪問のタイミングが合ったので来ました。屏風がすばらしかったです。撮影可の資料があり、思い出に撮影しました。那珂川の地図もいただきました。(30代 県外)

#### イ. 展覧会に対する意見

- ・昭和の頃も知りたかった、那珂川を利用したことを詳しく知りたかった(70歳以上 男性 市内)
- ・最近の那珂川についても少し展示があるとよかったです。(60代 男性 市内)
- ・なぜ水府流水術の展示がなかったのですか？近代の那珂川利用の視点(現在の導水事業に至る)を見てみたかったです。この展示は近世にややかたよりがちと思いました。(50代 男性 市内)
- ・ただじっと見学するだけではなく、何か昔のものを手で触ったり、食べたりすると実感がわくと思うし、おもしろいです。(70歳以上 女性 市内)
- ・スタンプラリーみたいなもの(自分で体験できるもの)をやらせてほしい。(10代 女性 県内)
- ・解説に対して所蔵品や図画のどこを見るといいか、すぐわかるかどうかの指示のあることが大切だと思います。きょう見せていただいたところでは、5勝5敗といったところでした。(60代 男性・女性 市内)
- ・絵図、絵地図の現物と一部を拡大して説明がつけてある箇所の対応関係が時々わかりづらかったと思う。絵地図は大体同縮尺で現在の地図を所々に並べて展示してくれるとありがたい。(50代 男性 県外)
- ・いい企画展で来たかいはありました。とても楽しかったが、もう少し地図的な説明がわかりやすいとよかったです(赤沼等地元外の人間は検索が必要)。農業用水が好きなので、江堰関係の展示があったらまた来ます。(50代 女性 県外 初訪問)

- ・人々の暮らしという点から那珂川を見るという視点は面白かった。イラストなども使用して、もっと人々の暮らしが具体的にイメージできたらよかったと思う。あと、順路の表示が、ちょっとわかりにくかった。(50代 男性 県内)
- ・よく資料(史料)を集めたなあ、と驚嘆するやら感心するやらでした。ただ、解説文がちょっと難しかった。文体はもっと柔らかくしてもよかったですと思いました。(70歳以上 男性 県内 初訪問)
- ・非常にためになる展覧会でした。会期がもう少し長いとありがたい。もっとPRをしたらいいと思う。(50代 男性 県内)
- ・洪水のことがもっと知りたかった。
- ・川沿いで農家をしています。那珂川での水戸の食を支えた農について語られていないので、農家としてはおもしろくなかったです。残念です。また那珂川を取り上げるときは農についてもぜひ。(50代 男性 市内 初訪問)

### (3) 今後開いてほしい展覧会について

#### ア 歴史

縄文、弥生、とりわけ先史。(50代 県外 初訪問) / 市内の土器、土偶等の特別展(50代 男性) / 原始、古代を扱ってほしい(40代 男性 県内) / 中世(40代 県内) / 佐竹氏、江戸氏の歴史(40代 男性 県外) / 水戸市の鉾山、鉾床についてのテーマ。水戸の鉾山やその資源についてもっと博物館で展示をしてほしい(10代 男性 市内) / 水戸城(20代 男性 市内)(20代 男性 県内)(60代 男性 市内)(70歳以上 男性 市内 初訪問) 他1名 / 水戸藩、国許と江戸の藩邸との対比(50代 男性 市内) / 水戸は藩都なので県央、県北などの郷村と水戸との関連(70歳以上 男性 県内) / 水戸歴代藩主ごとのテーマ展ができたらいいと思います(70歳以上 男性 県内) / 水戸黄門(70歳以上 女性 市内) / 徳川斉昭(60代 男性 県内) / 江戸時代の水戸のくらしぶり(70歳以上 男性 市内 初訪問) / 千波湖に流れ込む河川(桜川、逆川など)の歴史(江戸時代と現在との流路の違い、河川工事など)(70歳以上 男性 市内) / 偕楽園の分析(50代) / 偕楽園の歴史や、ここまで作った人たちの物語に興味があります。他に水戸が誇れるものがあれば、それをぜひ。(70歳以上 男性 県内 初訪問) / 備前堀、水戸黒(30代 女性) / 千波湖など(今回ので水運に興味を持った)(20代 男性 県内) / 千波湖干拓(50代 女性 県外 初訪問) / 水戸の神社、寺について(70歳以上 男性 市内) / 鉄道関係(60代 男性 市内) / 鉄道ものを再び見てみたい(60代 男性 市内) / 幕末の水戸、上市・下市をテーマに(70代以上 男性 市内) / 明治期の水戸について(20代 女性 県内 初訪問) / 明治から昭和の文化の変わりよう、使っていたもの、文献等々の展示(60代 男性 市内) / 小学生の時に来た時にやっていた戦争に関する展覧会をまたやってほしいです。(10代 女性 市内) / 戦中、戦後の庶民の生活(70歳以上 男性 市内) / 暮らしや歴史に根差した展示企画(60代 女性 市内) / 那珂川の水運を



もっと詳しく (60代 男性 県外 初訪問) / 昔の町割りの様子を知りたい (60代 男性) / 水戸ロマンチックゾーンにある史跡の紹介など (20代 女性) / 絵図について (40代 男性 市内) / 水戸グルメの歴史 (20代 市内) / むかしのこと (9歳以下 男性 市内 初訪問) / 堀についての展覧会 (40代 男性 市内) / 国田のれきし、ひみつ (9歳以下 女性 市内) (10代 男性 市内) (40代 男性 市内) / 1800年前のことが知りたいです。(9歳以下 市内 初訪問) / 特別なひとつの地域 (たとえば水戸駅がある所) の2000年の推移を学びたいです。(60代 男性・女性 市内) / 洪水対策、工事

#### **イ 民俗**

オバケ、妖怪展を再度やってほしいです。子どもにも人気でした。(40代 女性 市内) / おばけや妖怪 (9歳以下 女性 市内) / 神社、仏閣、伝説 (50代 女性 市内) / 民俗やまつり、風習 (60代 男性 県内) / 水戸の昔ながらの生産物や工場など当時の光景を知りたい。写真ではなく。(70代 女性 市内) / 水戸の農業 (10代 女性 市内 初訪問) / 水戸の農と食について (50代 男性 市内 初訪問) / 特産品のルーツや紹介、実演 (70歳以上 市内) / 水戸市の商店街のむかしからの歴史 (70歳以上 男性 市内 初訪問)

#### **ウ 自然**

自然 (動物・植物など) (50代 男性 市内) / 動物や魚などがいっぱい展示されている展覧会を開いてほしい (10代 女性 県内) / ほう石

#### **エ 美術**

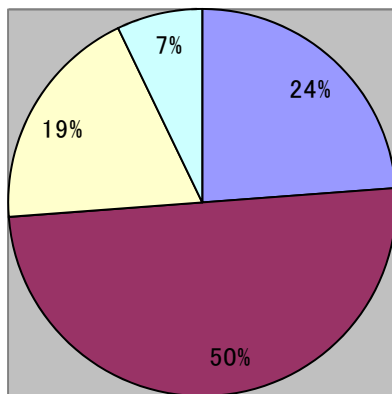
中村彝先生の展示 (市内)

#### **オ その他**

みとちゃん (9歳以下 女性 市内) / これ (那珂川ヒストリー) をもう一度 (市内 初訪問)

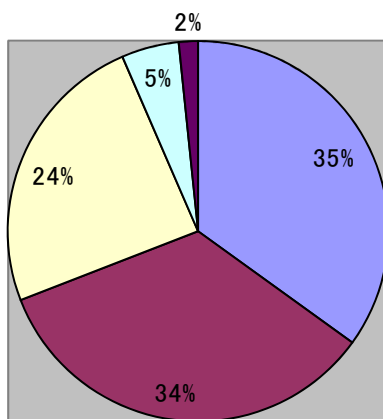
#### (4) 博物館について

##### ① 今まで博物館に来たことはありますか？



- よく来る
- 何度か来たことがある
- あることは知っていたが来たことはなかった
- あることを知らなかった

##### ② 水戸市立博物館の魅力度についてどう感じましたか？



- 魅力的
- やや魅力的
- ふつう
- やや魅力不足
- 魅力不足

#### (5) 博物館の全体的な展示、施設、運営などについて、ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。

##### 【施設について】

- ・施設の規模としてはいいのでは。受付の方の対応がいいです。(70代以上 男性 市内)
- ・駐車場が狭いです(40代 県内)(70歳以上 男性)(60代 男性)(20代 男性 市内 初訪問)
- ・駐車場がわかりづらい。展示物はよかった。(50代 女性 県内 初訪問)
- ・当館の道路からの目印がはっきりしないので、少し不安でした。(70歳以上 女性 市内)
- ・博物館の場所が遠い。駐車場が狭く台数が停められない。場所の移転を考えてもらいたい。(70代以上 男性 市内)
- ・展示が古い、館内のアクセス・動線が不便(50代 県外 初訪問)
- ・会場がわかりにくい。エレベーターが地下に行かず困った。興味はあるが残念

です。(70歳以上 男性・女性 市内)

- ・2階ぐらいにお金を払うところを作ってほしい。チケットにも「〇階でお金を払ってください」のように表示してわかりやすくしてほしいです。(10代 女性 県内)
- ・博物館の位置が不便です。旧三菱銀行水戸支店を市が買い上げて(借り上げて)、市立博物館単体にすれば、周遊性が出ます。(50代 男性 市内)
- ・ボランティアの方が大変親切でした(市内)
- ・2階受付ボランティアのあり方について再考されてはどうか?接客までいかなくとも館の顔にふさわしい服装があるのでは。(60代 女性 市内)
- ・館内の脱臭ができませんか?(60代 女性 市内)
- ・常にドリンクコーナーがあってほしいです。水、コーヒー、その他。(70歳以上 女性 市内)
- ・カフェとかつけてほしい(男性 県内)
- ・とりあえずすばらしい場所なのでがんばってほしい。But 一般的にはあまり知られていない。(20代 男性 県内)
- ・PRの不足です。(70歳以上 男性・女性 市内)
- ・図書館と仲良くしてください。図書館の人の案内がさっぱりわからない。  
(70歳以上 男性 市内 初訪問)

#### 【展示について】

- ・わかりやすいです(60代 男性 県内)
- ・何度か来ましたが、おもしろい内容なので惹かれます。(60代 男性 県内)
- ・水戸市は一生懸命やっていることに、感銘を受けました。やはり、県都の矜持があるからかなと思いました。(70歳以上 男性 県内 初訪問)
- ・大正時代など昔の生活を振り返ることができる展示が受付すぐにあるのは、楽しいと思う。表の彫刻?がいつ来てもかわいらしいというか何というか。良いです。(50代 女性 市内)
- ・生物の展示、おもしろかった。鳥の違いなど、くわしく説明があってよかった。食物連鎖のようすを示した剥製がすばらしいと思いました。(20代 女性 県外 初訪問)
- ・展示室が広くてよかった(20代 女性 県内 初訪問)
- ・写真撮影ができるのはよい。短時間での見学では、理解するのは容易ではないため(70歳以上 男性 市内)
- ・私語が気になって集中して学習することができなかった(残念)。係員が注意を促すべき(県外)
- ・何人かで見学するのはいいとして、グループの中の先生みたいな人が声を出して説明するのはいかかと思う。うるさい!(70歳以上 男性 市内 初訪問)

- ・展示物を増やしてほしい（10代 男性 市内）
- ・水戸は財政的にも豊かであると思っており、冊子などは安価に補助願います。  
（70歳以上 男性 県内）
- ・若い人がみるものがない（50代 男性 市内 初訪問）

(6) 回答者について（計：132人）

① お住まい

水戸市	72人	
水戸市外（県内）	36人	ひたちなか市、つくば市、常陸太田市、大洗町他
水戸市外（県外）	13人	盛岡市、仙台市、那須塩原市、川越市、船橋市他
無回答	1人	

② 性別

男性	73人	女性	45人
----	-----	----	-----

③ 年齢

9歳以下	7人	30代	5人	60代	22人
10代	11人	40代	10人	70代以上	35人
20代	12人	50代	20人		

## 報告事項(2) 令和4年度博物館事業の実施結果について

### 【I 資料の収集について】

#### 1 寄贈資料（寄贈者名は敬称略）

##### (1) 自然部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	昆虫標本	1,868	川島逸郎
2	雑誌「新昆虫」	36	蔵田駿一
3	エナガの巣	1	浜口喜夫
4	恐竜等の化石	10	非公表

##### (2) 歴史部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	中田利彦氏寄贈資料 (写真・冊子)	89	中田利彦
2	水浜電車の改札パンチ	2	吉田潤一
3	水浜電車 市内回数乗車券(参拾会)	1	川崎糸子
4	戦中・戦前の紙幣・硬貨	8	玉川里子
5	水戸藩士武道関係資料	6	鈴木健
6	石河明善書〔煙暖簷間無景明～〕 他	3	長山安宏, 長山行伸
7	小林敬文氏関係資料	8	横山恵美子
8	軽音楽ヒット愛唱集等歌謡資料 他	5	富田淳一
9	映写機及びフィルム等関連機材	41	戸田巧
10	宮本信氏関係資料	573	宮本光枝
11	禮法要項	1	齋藤科子
12	鮭の留網漁で使った鈴	1	石川弘子
13	東京オリンピック関連新聞記事	58	井坂照夫
14	小作収入帳 他	3	清水邦明
15	明治～昭和初期の書籍	6	中田利彦
16	信号レンズ(茨城鉄道沿線で使用されたもの)	3	菊地隆夫
17	内原仲坪の庚申講関係資料	18	旧内原町役場
18	拓本〔水府流水術指南石川先生墓 偈〕	2	栗田直行
19	飯盒〔ペリリュー島にて拾得されたもの〕	1	清宮千雅子

No.	資料名	点数	寄贈者
20	水浜電車車両模型	1	堤一朗
21	便箋の表紙	1	吉田憲司

### (3) 民俗部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	額 洗心（飛田穂洲）， 額 宣其得 （昭和7年秋 珂水終書）	2	鈴木洋子
2	電気アイロン （東芝電気アイロン，木箱付き）	1	富田淳一
3	ラーメンのどんぶり ほか	7	吉村賢治郎
4	ビクター（音響メーカー）の包装 紙 ほか	52	桂木優子

### (4) 美術部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	絵画 福地靖作 「秋風に左の頬を吹かれをり」	1	白坂文男

### 2 寄託資料（寄託者名は敬称略）

部門	資料名	点数	寄託者
歴史	日露戦役従軍日記	1	茨木啓介
	海野家関係資料	9	川井富美子

### 3 取得資料

部門	資料名	点数
歴史	軍馬岩文之碑	1

## 【Ⅱ 資料の保存について】

### 1 資料の修復

部門	資料名	内容
美術	林十江 筆「蓮図」	解体修理, 表装の改装

### 2 設備等の修繕

修繕箇所	内容
防火シャッター	バッテリー交換
ハロン消火設備	ハロン容器・起動用ガス容器の交換

## 【Ⅲ 資料の展示・活用について】

### 1 常設展

部門	テーマ	期間
自然	水戸の生きもの	通年
歴史	テーマ1 『大日本史』編纂と水戸藩 テーマ2 戦争と水戸のまち	通年
民俗	大正ロマン 大店と子どもたち	通年
美術	水戸の美術Ⅰ テーマ1 近現代の水戸の洋画界 テーマ2 近代の日本画 - 山水を描く -	令和4年6月11日～ 7月3日
	水戸の美術Ⅱ テーマ1 染色家・中村光哉 テーマ2 萩谷セン喬	令和4年9月10日～ 10月2日
	水戸の美術Ⅲ テーマ1 水戸藩のお抱え絵師 テーマ2 明治の洋画家 五百城文哉	令和4年12月10日～ 令和5年1月9日

## 2 教育普及事業

### (1) 学校連携事業

#### ① 体験講座・見学等

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
むかしの道具の実体験講座 と博物館見学	10	小学校 10	490	小学3年生
博物館見学	2	小学校 1	3	
		中学校 2	57	
博物館実習	1	大学 1	3	
合 計	10		553	

#### ② 学校への資料の貸出

部 門	校数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	4	高等学校 3	戦争関連資料（手榴弾，艦砲弾破片，焼夷弾，千人針，日章旗等）
		大学 1	
民俗部門	1	特別支援学校 1	むかしの道具（火のし，炭火アイロン，ちゃぶ台，箱膳，草履等）
合 計	5		

### (2) 一般向け事業

#### ① みと歴史講座

テーマ	期 日	講 師	参加人数
「石河明善日記」に見る家族	12月3日	栃木敏男氏	24人
「石河明善日記」をよむ －安政期の藩情を中心に－	12月10日	久信田喜一氏	25人
水戸城下の水害史 －水害記録を読み解く－	2月19日	藤井達也	30人
合 計			79人



## ② 自然観察会

テーマ	場 所	期 日	講 師	参加人数
春の植物観察会	逆川緑地	4月24日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	19人
夏の昆虫観察会	逆川緑地	7月23日	佐々木泰弘氏	22人
秋の植物観察会	逆川緑地	10月8日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	17人
冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	1月14日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	15人
野鳥観察会	大塚池	2月4日	後藤俊則氏	17人
合 計				90人

## ③ その他の講座

講 座 名	期 日	講 師	対 象
令和4年度基本研修第1部課程 前期研修「水戸の歴史」	4月13日, 14日	藤井達也	令和4年度新規採用職員 77人
常陸大宮市文書館 第13回文書館 カレッジ「南北朝内乱と茂木氏 一戦乱を生き抜いた東国武士」	5月28日	藤井達也	一般 270人
「水戸の空襲」	8月4日	藤井達也	下大野高齢者大学受講生 30人
茨城大学人文社会科学部 「日本古代中世史Ⅰ」	12月18日	藤井達也	茨城大学学生 35人
源氏物語女人絵巻 参 「春の夜の禁断の恋 朧月夜」	1月13日	坂本京子	五軒女性教養講座受講生 20人
源氏物語女人絵巻 八 「最愛の女人との別れ …そして雲隠」	2月15日	坂本京子	五軒さわやか学級受講生 15人
合 計			447人

### (3) ぴ～すプロジェクト

#### ① わたしは戦争を忘れない ―戦争と子どもたち―

日 時：令和4年8月2日（火） 10:00～12:00

8月15日（月） 10:00～12:00

講 師：小菅次男氏，柏俊子氏，檜山正義氏，篠原吉宗氏

会 場：みと文化交流プラザ 6階大会議室

参加者数：2日 87人，15日 66人

#### ② 「水戸・東京の高校生が伝える戦争・空襲―あの日と今日、これからをつなぐ―」

東京大空襲・戦災資料センターとの共催により，Zoom ウェビナーによるリアルタイムのオンライン開催で実施した。水戸・東京の高校生がそれぞれの地域の空襲体験記や戦争にまつわる詩を朗読するとともに，戦争体験者，オンラインによる参加者も交えて語り合うことで，戦争の実態を学び，体験の継承を考える機会を提供した。

開催前の7月23日（土）には，参加する高校生に対し，水戸・東京両方の空襲を経験した戦争体験者（93歳）の話聞き，舞台俳優による朗読指導を受けるワークショップも開催した。

日 時：令和4年8月9日（火） 13:00～16:00

会 場：水戸…水戸中央教会（水戸市大町），水戸工業高等学校

東京…戦災資料センター 映像講話室（東京都江東区）

朗読者，戦争体験者以外の一般視聴者は，Zoom を利用したオンラインによる参加

参加者数：朗読者（高校生）水戸10人・東京8人，戦争体験者1人，

一般視聴者 30回線

### (4) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業

#### ① 石河明善日記解説定例会

19回開催した。

### 3 資料の貸出等

#### (1) 資料の貸出（学校を除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
自然部門	2	東海村立図書館 水戸まちづくりの会	昆虫標本・岩石標本他 25点 サケ剥製標本 2点
歴史部門	2	大洗幕末と明治の博物館 筑波海軍航空隊記念館	水浜電車関係資料 16点 武石浩玻・海野幾之介関係資料他 25点
美術部門	1	茨城県近代美術館	辻永作品，付属品(額)，写真 140点

(2) 写真・画像使用の許諾（資料貸出に伴うものを除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
美術部門	2	印刷物掲載 1	・辻永「うめ」 1点 (茨城県近代美術館友の会会報誌「游美102号」)
		その他 1	・木内克「猫」他 3点 (テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」)
民俗部門	1	研究・講座等 1	・写真「オープン当日のレイクランドの賑わい」他 4点 (昭和40年代水戸市内の市街地状況調査)
歴史部門	24	研究・講座等 1	・昭和11年水戸市航空写真（弘道館上空） 1点 (弘道館講座)
		書籍等掲載 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸山写真 他 5点 (『常陽藝文』2022年7月号)</li> <li>・横山大観写真 1点 (東京新聞連載記事「近代茨城のポートレート」)</li> <li>・水戸城下絵図（天保12年以降） 1点 (『江戸の庶民から武士まで 200年家系図をつくる本』(旬報社))</li> <li>・写真「朝の増発電車に乗り込む学生たち」 1点 (『常磐大学高等学校創立100周年誌』他)</li> <li>・水府浪士追討絵図 1点 (大石学編『幕末の水戸藩と弘道館』(仮)(戎光洋出版))</li> <li>・石河明善日記 1点 (『玉造史叢』第62集)</li> <li>・常陸水戸城下近郊之図 1点 (『ふるさと日立検定公式テキストブック改訂版』)</li> <li>・水戸城三階櫓古写真 1点 (茨城大学教育学部附属幼稚園PTA会報『ぶらんこ』第91号)</li> <li>・大砲「奇」写真 1点 (『水戸藩の近代後期(仮題)』)</li> <li>・満蒙開拓青少年義勇軍募集ポスター 1点 (株式会社ラーズ発行 高校生向け教材 (『社会科 中学生の歴史』(仮称)(株式会社帝国書院)) (『中学歴史 日本と世界 改訂版』(仮)(山川出版社))</li> </ul>

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門			<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真「横山大観肖像」 1点 (『人物日本史 近世・近代編』(中央公論新社))</li> <li>・「大工町を通る水浜電車(昭和36年)」 1点 (茨城新聞 鉄道150周年連載記事)</li> <li>・水戸絵図(享保元年～宝暦9年) 1点 (『五浦論叢』29号)</li> <li>・「常磐公園攬勝図誌」坤の内「見川村緑岡の図」関係 4点 (『天保十年見川誌』)</li> </ul>
		印刷物掲載 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬王院本堂の画像 1点 (茨城県立歴史館企画展パンフレット等)</li> </ul>
		その他 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偕楽園古写真絵葉書 他 86点 (偕楽園魅力向上デザインホームページ)</li> <li>・偕楽園関連絵葉書 20点 (偕楽園開園180年記念パネル展「偕楽園のいまとむかし」展)</li> <li>・錦絵 耕雲斎筑波山籠 1点 (JR東日本「歴史講談 水戸漫遊」)</li> <li>・写真「横山大観肖像」 1点 (テレビ朝日「じゅん散歩」)</li> <li>・水戸市及び三浜全図(昭和10年) (毎日新聞公式サイト)</li> <li>・写真「終戦直後の水戸駅前」 1点 (共同通信社企画)</li> <li>・「昭和32年水戸駅前の交換停車場で停車している水浜電車」(『水戸百年』掲載)他 8点 (フレーム切手シート)</li> <li>・快風丸模型 1点 (TBS「世界ふしぎ発見!」)</li> </ul>

## 協議事項(1) 企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」の開催について

### 1 名称

企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」

### 2 開催趣旨

昆虫の誕生はおよそ4億年以上前といわれており、人類よりはるか昔から地球の様々な環境に適応し、生息域を広げてきました。いまや種類がわかっている地球上の生きもののうち、半分以上を昆虫の仲間が占めています。

今回の展覧会は、市立博物館で所蔵する昆虫標本等で様々な昆虫の生態を発信することで、自然への興味をもってもらい、人と生き物が理想的に共生する自然環境を考えるきっかけとするものです。

### 3 会期

令和5年7月25日（火）～8月27日（日） 30日間

休館日 月曜日

### 4 会場

4階展示室(入場無料)

### 5 関連行事

#### (1) 昆虫クラフト作り

日時：7月29日（土）10：30～11：30，13：00～14：00

会場：3階視聴覚室

定員：各回20名（小学生以下は保護者同伴）

講師：鍋嶋通弘氏（ペーパークラフト作家）

#### (2) 自然観察会「夏の昆虫観察会」

日時：7月30日（日）9：00～15：00

会場：逆川緑地, 千波市民センター

定員：20名（小学生以下は保護者同伴）

講師：佐々木泰弘氏（茨城県環境アドバイザー）

#### (3) 博物館ボランティアと作ろう（紙工作）

日時：8月5日（土）10：00～12：00

会場：3階視聴覚室

定員：20名（小学生以下は保護者同伴）

講師：高村晴幸氏（博物館ボランティア）

## 協議事項(2)

### 水戸市民会館オープン記念特別展示「市立博物館コレクション展」について

1 **名称** 水戸市民会館オープン記念特別展示「市立博物館コレクション展」

#### 2 開催趣旨

水戸市では、芸術文化活動の拠点・にぎわいづくりの拠点となる市民会館を整備し、市の芸術文化を振興する取り組みを進めているところです。

市民会館のオープンは本市の文化振興への大きな契機となることから、水戸市立博物館では市民会館オープン記念として、日ごろ目にする機会の少ない貴重な収蔵資料を特別展示し、多くの方々に水戸の文化にふれる機会を提供します。

3 **会場** 3階展示室(入場無料)

4 **会期** 令和5年6月10日(土)～令和6年1月

※資料の劣化防止のため、会期中で展示替えを行います。

	期間	主な展示資料(予定)
第1期	6月10日(土) ～8月27日(日) 68日間	江戸から近代の水戸ゆかりの作家による 絵画等(狩野興也, 立原杏所, 五百城文哉, 中村彝他)。 ※第1期中途, 企画展(7月25日から)に あわせて展示内容を変更, 横山大観「水温 む」等を展示
第2期	9月9日(土) ～10月9日(月・祝) 26日間	「水戸鈴木家文書」等。 ※水戸藩家老の家に伝わった今川義元・氏 真, 井伊直政等の書状。徳川家康の自立か ら江戸幕府草創期の様子がわかる。
第3期	10月21日(土) ～11月26日(日) 32日間	江戸時代に活躍した水戸出身の画家, 林十 江の作品。 (「野菜売図」(館蔵), 「蜻蛉図」(水戸市指 定文化財。県立歴史館から借用)等)
第4期	12月9日(土) ～令和6年1月8日(月・祝) 22日間	近現代の日本画。(加倉井和夫「塔」等)

5 **関連行事** 展示解説 第1期 7月26日(水) 14:00～  
第2期 9月17日(日) 14:00～  
第3期 11月5日(日) 14:00～  
第4期 12月17日(水) 14:00～

### 協議事項(3) 特別展「ろうのしごと 中村光哉の染色」の開催について

1 名称 特別展「ろうのしごと 中村光哉の染色」

#### 2 開催趣旨

中村光哉（なかむら・こうや、1922－2002）は、友禅染の人間国宝・中村勝馬を父にもつ染色作家である。また、中村家が代々水戸藩に仕えた家系であることから、水戸とゆかりの深い作家でもある。自身も友禅染の作家として知られ、モダンな作風の着物や屏風・パネル等を制作し、後年は三浦半島の海をテーマとした、静かで理知的な作品を制作した。

しかし、作家としての前半期にあたる昭和 30 年頃から昭和 50 年代半ばにかけては、友禅染から離れ、蠟で防染する「ろうけつ染」に取り組み、屏風やパネルの作品を数多く制作した。「染めるか染めないか」という染色の原点に立ち返り、染めたところと染めないところを黒と白で明確に分ける表現を意識した結果、黒を基調として、画面構成の試行錯誤を重ねた独特の作品が生み出された。中村光哉は、この時期を後に「黒の時代」と呼んでいる。

中村光哉は、この「黒の時代」を通じて、画面構成の追求と同時に、主題をさまざまに変化させ、後の友禅染の作品制作にもつながる独自の造形感覚を形成した。楽器や遊園地等を描いた具象的な主題から始まり、曲線や直線を多用した抽象的な形象へと移行し、その後、雲や炎などを様式化した独特の模様が生み出された。そして、どの主題においても、自由で大胆な構図がとられ、黒を背景に対象が力強く浮かび上がり、迫力のある作品が作り上げられている。

本展は、ろうけつ染の作品を中心に、染色作家・中村光哉の魅力を紹介するものである。ろうけつ染の作品は、中村光哉の創作活動において、染色と向き合い、自身の方向性を模索し、情熱を注ぎ込んだ重要な作品群である。それらの展示を通じて、作家の作品世界を深く知る機会を提供するとともに、ネクタイ図案等の資料にも注目し、染色の世界で生きた作家の軌跡を辿る。

3 会期 令和 5 年 10 月 21 日(土)～11 月 26 日(日) 32 日間  
休館日 月曜日

4 会場 4 階展示室

5 備考 会期中、各種関連行事を実施。

## 協議事項(4) 令和5年度博物館の主な事業について

### 運営方針に基づく令和5年度の事業について

#### (1) 特別展等の開催

- ア 特別展・企画展等を年3回開催して、郷土の歴史や文化、自然に対する新たな視点からの興味・関心を呼び起こし、市民文化の向上に努める。
- イ 展覧会の関連行事など博物館外での活動を実施して、展示の補完に努める。

#### ・令和5年度展示予定

- 企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」(自然部門) 7月25日～8月27日
- 秋季特別展「ろうのしごと 中村光哉の染色」(美術部門) 10月21日～11月26日
- 冬季特別展「江戸氏 ー常陸戦国史を駆けた水戸城主ー」(歴史部門) 令和6年2月3日～3月10日
- 特別展示「市立博物館コレクション展」 6月10日～令和6年1月

#### (2) 収藏品等による常設展の開催

- ア 調査・研究・展示等に活用するため、郷土に関する自然・歴史・民俗・美術等の資料の収集に努める。
- イ 新たに収集した資料の公開を積極的に行うなど、常設展の展示内容の充実に努める。

- ・常設展の展示替え：歴史・民俗・自然部門 5月22日～6月9日  
美術部門 9月・12月・令和5年3月(予定)
- ・親子で学ぶ 平和キャラバンが行く! 「何を願って、どう戦った!! ー国策紙芝居と実物資料で知る戦争」：7月22日・12月9日

#### (3) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業の推進

- ア 「石河明善日記」の解読作業を進めるとともに、第5巻(21～25冊)の刊行に努める。

- ・解読定例会：19回開催予定

#### (4) 学校等との連携事業の推進

- ア 小学校等の校外学習を受け入れて、むかしの道具の実体験講座を実施するほか、出前授業や資料の貸出を行うなど、学校教育との連携に努める。

- ・見学・体験講座の受入れ、出前授業、資料の貸出：学校からの要請に応じ実施
- ・博物館実習生の受入れ：3名受入れ予定(7月28日～8月6日)
- ・中学生の職場体験の受入れ：緑岡中2名受入れ予定(7月26日～27日)



## (5) 各種教育普及事業の推進

ア 戦争体験者による語り部事業「わたしは戦争を忘れない」を実施し、平和の大切さを伝えるとともに、記憶が風化しないよう記録に努める。

イ 自然観察会等、博物館外での活動を実施し、市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

- ・「わたしは戦争を忘れない ー戦中・戦後を生きてー」：8月2日・8月15日に実施予定
- ・「東京と水戸の若い世代が伝える戦争・空襲」：  
東京大空襲・戦災資料センターとの共催によるオンラインイベントを8月19日に実施予定
- ・自然観察会：

5月1日	春の植物観察会（参加者14名）
7月30日	夏の昆虫観察会
10月8日	秋の植物観察会
1月14日	冬芽・葉痕の観察会
2月3日	野鳥観察会
- ・みと歴史講座：第1回 10月1日  
「水戸鈴木家文書」を読む 一家康の自立から水戸藩家臣団の誕生までー  
第2回 12月2日  
第3回 12月16日

## 参考

### ○水戸市立博物館条例

昭和55年3月28日

水戸市条例第21号

改正 昭和56年3月27日条例第20号

平成4年9月22日条例第27号

平成24年3月28日条例第15号

令和5年3月27日条例第17号

注 平成24年3月から改正経過を注記した。

#### (趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(令5条例17・一部改正)

#### (設置)

第2条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称 水戸市立博物館

位置 水戸市大町3丁目3番20号

#### (職員)

第3条 水戸市立博物館（以下「博物館」という。）に館長、学芸員、事務職員その他必要な職員を置く。

#### (観覧料等)

第4条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、水戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が期間を定めて特別の展示会を催したときは、教育委員会が定める観覧料を徴収することができる。

2 教育委員会が特に必要があると認めるときは、前項の観覧料を減額し、又は免除することができる。

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

#### (損害賠償等)

第5条 入館者は、博物館の施設、設備又は博物館資料を損傷し、又は滅失したときは、速やかに原状に復し、又は市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会)

第6条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、水戸市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(令5条例17・一部改正)

(組織等)

第7条 協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のうちから、教育委員会が任命する15人以内の委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会に、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。

4 委員長は、協議会の会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平24条例15・一部改正)

(会議)

第8条 協議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

(昭和55年教委規則第11号で昭和55年6月15日から施行)

付 則(昭和56年3月27日条例第20号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例による改正後の水戸市立博物館条例第6条第2項の規定により任命された委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、1年とする。

付 則(平成4年9月22日条例第27号)

この条例は、平成4年10月1日から施行する。

付 則(平成24年3月28日条例第15号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則(令和5年3月27日条例第17号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。